

A-11 八ヶ岳アイスクライミング

【山行日】2022年1月22日～24日

【CL】3547 【参加者】3317、3447、3547、3745、3748

【コース】22日 10:00 美濃戸口…10:45～14:40 柳川河原奥の氷瀑登攀 23日 6:15 舟山十字路…9:10～14:00 広河原沢右俣クリスマスルンゼ登攀…16:00 舟山十字路 24日 9:10 美濃戸…10:20～13:20 柳川南沢小滝登攀…13:35～14:30 南沢大滝登攀…15:45 美濃戸

1日目の河原奥の氷瀑は、美濃戸口から徒歩20分の近さである。氷がやや薄くスケールも小さいが、腕慣らし足慣らしにはちょうど良い。

2日目の広河原沢右俣クリスマスルンゼは、舟山十字路から歩いて3時間ほど掛かりやや遠いが、登攀意欲をかき立てる素晴らしい氷瀑である。ただしこの日は氷がやや水っぽく柔らかかった。スクリュエの効きが甘い所もあり恐ろしい。クリスマスルンゼを2ピッチ登ると終了点である。下降は右岸の立木を使って50mダブルロープの懸垂1回で、ギリギリ取付き近くの雪の斜面に届いた。

その後は、下部の氷瀑で全員がリードトライやトップロープで楽しんだ。

3日目の柳川南沢小滝・大滝は、美濃戸から徒歩約1時間である。最初に高さ10mぐらいの小滝を2人がリードしてトップロープを2本掛けた。トップロープで何度も登ったため、大滝を登る時間が残り少なくなってしまった。

急いで大滝に移動した。スケールの大きい見事な氷瀑である。70mロープでも氷瀑全体をトップロープにするのは無理である。時間の制約があるので、大滝は下半分のみリードでトップロープを掛け、下山時間までに何とか1人1回ずつ登ることができた。次回来たときには大滝の上半分も登りたい。小滝の前に大滝を登った方が、登り残しの未練は少ないだろう。

今回の宿とした美濃戸口のJ&Nは、寝るスペースが1人ずつの個室になっていた。パティシエシェフのいるレストランの食事は美味しく、下山後には入浴もさせてもらった。(3547)



クリスマスルンゼ下部の滝をリードする 3745



南沢小滝をリードする 3317



南沢大滝をトップロープで登る 3447